

開かれた施設運営を

原田に特養老人ホーム「風の杜」

木造耐火構造で安心快適



特別養護老人ホーム「風の杜」(大塚芳子施設長)が8日、富士市原田にオープンした。社会福祉法人・美芳会(大塚芳正理事長)が運営。県内初となる2階建て木造耐火構造を採用した木のぬくも

りあふれる広々としたスペースを利用し、地域に開かれた施設として地域とともに利用者のケアを行っていく。同施設は、木造耐火構造2階建て。延床面積約2964平方メートル。耐火構造に適しているというカナダの木材をふんだんに使用し、温かみのある雰囲気としたほか、1、2両階ともに、施設中心をつなげる約210平方メートルの広々としたホール部分

が開放的な空間となっている。特別養護老人ホームの定員は、29人。全室約13平方メートルの個室と共同生活室を用意し、利用者それぞれの個性や生活リズムに合わせた暮らしができるようサポートしていく。このほか、定員10人の短期入所生活介護サービス、同20人の通所介護サービス事業も運営する。短期入所生活介護では、特別養護老人ホームと同様、全室個室と共同生活室を配備し、通所介護には、食堂兼機能訓練室を設けた。

1階に積極的な利用者との交流の場を設けていく。同日には施設業者、約100名が参加し、



あいさつする大塚理事長

それぞれに浴槽やトイレなどの基本設備を設けているほか、施設内には大型厨房を完備。栄養バランスを考慮したできたての温かな食事を提供していく。

富士市ハビリティは18日、リハビリとアンチを開く。午後0時

県剣道少年団研修会・発表

「第37回県剣道少年団研修大会」が、先ごろ浜松市の浜北武道館で開かれ、中学生の体験発表の部で遠藤華さん(富岳館 鷹岡中1年)が最優秀賞を獲得した。



私は、剣道を始めて八年になります。この八年間には、楽しい思い出やつらく苦しい思い出が沢山あります。なかでも忘れられないのは、私が四年生の時のことです。

稽古でいつも言われていた(人の言うことをよく聞き、物事の善し悪しをしっかりと考えて人に迷惑をかけない)という事を守らなかつたので、禁止されているのに妹と自転車に二人乗りして転倒してしまい、とり返しつかない大けがを妹に負わせてしまったことです。

しかし、私の心の中には消すことのできない後悔という深い傷が残ってしまいました。四月から中学生になりました。道場で中学一年生は二人しかいません。学校の部活でも女子は一人でした。

道場での稽古は、妹が私と剣道ができるのが楽しそうなのでやめるわけにはいきませんが、部活はどうしようかと悩んでしまいました。とりあえず体験入部をしてみるところにしました。

試合に出先頭に立ればな道場に指導を受出しますがに伝わりある日「華、部と聞かれるの悩みをると、館長達と同じだから何回も学三年生い結果を、すのい、もよいと、アドバイ

三年後に夢を咲かせたい

富岳館 遠藤 華

友人に声を掛け誘って頂きました。すると、六人も剣道部に入ってくれたのです。とてもうれしかったけれど、六人全員が中学生になつて初めて剣道を習う人たちでした。でもこの人たちと団体戦を組んで